

2023

社会・環境レポート

双信電機株式会社

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

SOSHIN ELECTRONICS(M)SDN. BHD

CONTENTS

はじめに

- はじめに 1
- SDGs
(持続可能な開発目標) 2
- 社会性報告
 - 人間性尊重 4
 - 快適な職場環境、人材育成、
CSRへの取り組み 5
 - 地域社会協調、社会貢献活動 6
 - 快適な職場環境 9
- 環境報告
 - 環境マネジメントシステム 10
 - 省エネへの取り組み 11
- データ集
 - 環境データ 13
 - 社会データ 15

本レポートは、双信電機グループのサステナビリティに対する考え方や取り組み内容を紹介することで、ステークホルダーの皆さまによりいっそう当社グループを知っていただく目的で作成しています。

活動の重要な要素である「社会性」と「環境保全」について、具体的な取り組み事例や定量的なデータ開示により活動実績を紹介しています。

□ 対象期間

活動実績：2022年度

データ集：2018年度～2022年度

※2022年度は会計年度の変更により2022年4月～12月の集計となっています。

□ 対象範囲

双信電機株式会社

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

双信エレクトロニクスマレーシア

SDGs（持続可能な開発目標）への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

分類	目標	双信電機グループの提供価値	取組み事例	
事業活動	 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	◎ 電力・通信品質の向上等、効率的なエネルギー活用に貢献できるソリューションを創出しいきます。	◎ 再生可能エネルギーを利用した発電設備にも私達が提供する電子部品は活躍しています。そしてこれからも次世代に必要な電気エネルギーの効率化に貢献できる新製品を提供し続けます。	
	 産業と技術革新の基礎をつくろう	◎ 「ノイズの無い世界を作る」を達成するために各事業本部のコア技術の強化を推進していきます。		
(ESG) 社会的目標	(E)環境	 海の豊かさを守ろう	◎ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進、資源循環により廃棄物ゼロ(ゼロエミッション)を達成することで間接的に森林保護・砂漠化対策・生物多様性損失阻止に寄与します。	◎ 製品加工に関する新プロセス導入により水を使用しない工法に変更しています。
		 陸の豊かさを守ろう		◎ 工場から排出される水質の測定を行い環境の維持に取り組んでいます。
		 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	◎ 再生可能エネルギーの割合を増やし、地球環境の保全に貢献します。	◎ 地域発電事業(佐久市メガソーラー発電事業)に参画し地域のグリーンエネルギー供給に貢献しています。
		 つくる責任 つかう責任	◎ 高品質・長寿命な電子部品の安定供給、環境上適正な化学物質の利用、資源循環を原則とした廃棄物削減に努めます。	◎ 浅間工場では太陽光発電を導入し、余剰分は電力会社へ売電しています。
		 気候変動に具体的な対策を	◎ 2050年カーボンニュートラルを目指し温室効果ガス削減活動を推進します。	◎ 高度な設計・プロセス技術によりライフサイクルの長い製品を提供しています。
			◎ 当社グループで扱う全部材の含有化学物質管理を通して、顧客要求、法令を順守し責任ある事業活動を行っています。	
			◎ 再生可能エネルギーの導入によりCO ₂ 削減に取り組んでいます。(太陽光発電導入の他、購入電力の一部をグリーン電力化)	
			◎ データセンターのクラウド化により電力量を削減しました。	
			◎ 2022年度に生産拠点の対象空調機器を更新し、約20%の電力量を削減しました。	
			◎ 生産設備導入時には環境負荷物質の使用有無、省エネ効果を評価する仕組みを導入しています。	
			◎ 2050年カーボンニュートラルに向けて、コンサルタントを導入し行動を開始しています。	

SDGs（持続可能な開発目標）への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

分類	目標	双信電機グループの提供価値	取組み事例
(ESG) 社会的 目標	 1 貧困をなくそう	貧困をなくそう ◎ 積極的に社会貢献活動を実施しています。	○特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン(フードバンク)、長野ろうきん(食料支援活動:フードドライブ)へ食品の寄付をしています。
	 3 すべての人に健康と福祉を	◎ 従業員や地域住民などへの健康や福祉の提供を積極的に推進します。 ◎ 社会貢献活動を通して、「心と体の健康作り」、「地域共生」、「奉仕の精神」を育みます。	○産業保健体制の充実により、従業員の心と体の健康を守ります。 ○近隣保育園に知育玩具のクリスマスプレゼントをしています。 ○ペットボトルキャップ回収活動を通じて発展途上国へポリオワクチンを寄付しています。
	 4 質の高い教育をみんなに	◎ 全ての人に学ぶ権利、成長する権利を平等に提供します。	○企業内奨学金給付制度(従業員の子息、入社予定者)により学びを支援しています。 ○従業員に対して職群別、職能・業種別の通信教育プログラムを整備し学ぶ環境を提供しています。 ○地域の学生に対して出張授業や製造体験学習を行い学びの機会を提供しています。
	 5 ジェンダー平等を実現しよう	◎ 性別に関係なく誰もが働き続け、活躍出来る環境を実現します。	○当社の人事制度は資格制度のため、性別の違いによる不平等はありません。
	 8 働きがいも経済成長も	◎ 個性と多様性を尊重することで、社員の働き甲斐のある安心・安全な職場を提供し、経済成長に寄与します。	○仕事と家庭の両立、働く場所を限定したい等、それぞれの価値観や多様性を尊重した柔軟な就労環境を提供しています。
	 11 住み続けられるまちづくりを	◎地域との繋がりを大切に社会・地域貢献活動を積極的に推進しています。	○事業所周辺の清掃活動や花壇整備、あいさつ運動等を通じて地域社会との繋がりを大切にしています。
	 10 人や国の不平等をなくそう	◎ 国籍、性別を問わず公平な採用活動を行うと共に、従業員の権利が守られる環境を維持して行きます。	○人物重視の採用活動を基本とし、国籍や性別による不平等な採用はしていません。 ○各事業所毎に意見を投函出来る「ご意見箱」があり、気軽に経営層への提言が可能です。
(G) ガバナンス	 16 平和と公正をすべての人に	◎ 各国、地域の法令やルールを守り、国際間の取決めに尊重してコンプライアンスを徹底します。	○調達先への調査・管理により、人権に配慮したサプライヤー管理を順守しております。 ○原産地の調査を行い、紛争地域からの鉱物調達はしません。

◆人権尊重

人種、国籍、性別、信条、性格、障がいなどの個性を尊重し、従業員一人ひとりが明るくいきいきと働くことができる、そして平等に教育を受け成長を実感できる企業であり続けます。

◆コンプライアンス強化

顧問弁護士によるコンプライアンス研修や内部通報の受理により、ルールの順守や職場における差別、ハラスメントなどの人権に反する行為の発生を防止する活動を行っています。

また、情報セキュリティ研修、貿易管理研修、競争法研修などコンプライアンス強化のために教育を実施しています。

◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、新卒やキャリア人材の採用活動に努めています。

また、外国人の採用促進など必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、従業員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

◆こころの健康づくり

双信電機グループでは「こころ」のケアを充実させるために産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結して、こころの健康づくりの活動に取り組んでいます。

また、長時間労働対策に関して、管理職への教育、残業時間の管理、定時間退社日の徹底などを実施しています。



社会性報告

快適な職場環境、人材育成、CSRへの取り組み

◆ワークライフバランスの実現

双信電機グループでは仕事と育児の両立を目的として、育児短時間勤務の対象期間(従来：小学校1年生になるまで)を小学校2年生になるまでに拡大しました。

また、心身の健康を目的としたリフレッシュ休暇制度の対象者(従来：35歳から)を25歳から引き下げました。

その他、2021年度より年次有給休暇の時間単位取得制度を導入するなど、より柔軟な働き方が可能となっています。

◆英会話力向上に向けた環境整備

双信電機グループでは希望者は誰でもオンライン英会話レッスンを受講することができます。従業員に効率よく英会話学習を進めてもらうために「英会話BOX」を設置しました。

英会話教育の他にも、従業員が成長感、達成感を得られる企業を目指し、多種多様な通信教育講座等の教育環境を整備しています。

◆サプライチェーンにおけるCSR活動の取り組み

双信電機グループではサプライヤーに要請しているCSR：Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)活動として規制化学物質の管理、グリーン調達管理などを行っています。

今後はサプライチェーンの脱炭素化を実現するため、サプライヤーから購入した製品・サービス、輸送・配送のCO₂排出量の調査、削減活動に取り組んでいきます。



社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介



11 住み続けられるまちづくりを



写真:2022年11月実施
双信デバイス



11 住み続けられるまちづくりを



写真:2022年12月実施
双信パワーテック

◆工場周辺美化活動

双信デバイス、立信電子で工場周辺のゴミ拾いを実施しました。

◆近隣保育園へのクリスマスプレゼント

双信パワーテック、双信デバイスで近隣の保育園へクリスマスプレゼントを贈りました。



1 貧困をなくそう



写真:2022年11月実施
浅間工場



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさを守ろう



写真:2022年5月実施
千曲工場

◆長野ろうきんの食料支援に協力

浅間工場、千曲工場ではろうきんが行っている食料支援活動(フードドライブ)に協力し食品を提供しました。

◆環境美化活動(アダプトシステム)

千曲工場で長野県より寄贈いただいた花をプランターに植え、工場周辺の歩道に設置しました。

社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介



写真:2022年5月実施
本社



写真:2022年5月、11月実施
双信パワーテック

◆非常食の寄付

本社では非常食入替えにともない、特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン(フードバンク)へ寄付しました。

◆あいさつ運動

都城市山之口地区まちづくり協議会が主催する挨拶運動に参加しました。



写真:2022年9月実施
本社



写真:2022年11月実施
浅間工場

◆献血への協力

本社、浅間工場、千曲工場で献血に参加しました。

◆地元高校インターンシップ

浅間工場では佐久平総合技術高校の生徒にノイズフィルタの製造を体験してもらいました。

社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介



写真:2022年10月実施



◆環境フェアin佐久

当社が加盟している有限責任事業組合(LLP) 佐久咲くひまわりで子供向けソーラーカー工作教室を実施しました。

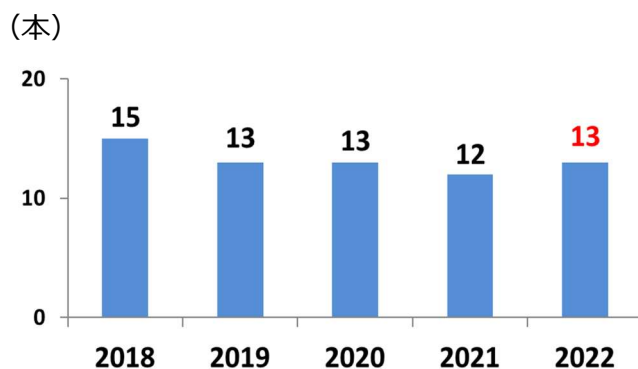
◆NPO法人ピッキオへの寄付

森林・動植物の保護活動を行っているピッキオへ寄付しています。

<https://npo.picchio.jp/>



エコキャップ ワクチン換算数



◆エコキャップ運動

回収したペットボトルキャップは、リサイクル資源として売却され、その利益の一部がJCV(世界の子供にワクチンを委員会)に寄付されます。2022年度はワクチン13本に相当するキャップを回収しました。

快適な職場環境の事例紹介（安全衛生）



防災訓練（千曲工場）

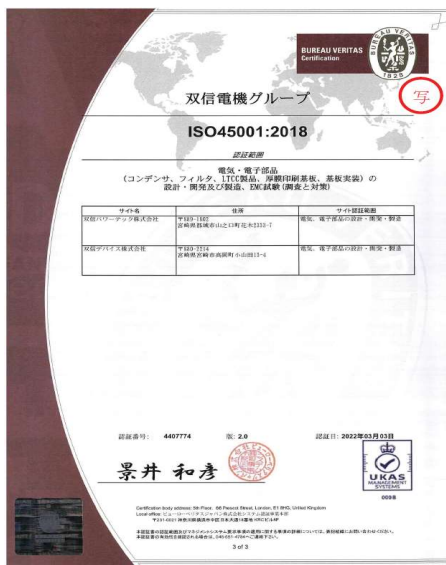
安全パトロール（浅間工場）

◆安全衛生活動

双信電機グループでは、従業員の安全及び健康を確保し、快適な作業環境を整備すると共に、業務災害ゼロを目指して安全衛生活動を積極的に展開しています。

主な活動として、これまで実施してきたリスクアセスメントによる重篤災害の未然防止活動、従業員への安全アンケートによる危険要因の抽出・是正等の活動に加え、防火活動を強化しています。

現在推進している防火活動としては、「火災の未然防止」を目的として、外部機関による火災リスクの診断を受診し、受診結果を防火活動や防火管理ルールに反映しました。また高感度煙検知システム導入を進めています。



ISO45001 : 2018 認証書

◆ISO45001 国内全拠点 認証取得

双信電機グループでは 2022年度に国内全拠点にて「ISO45001 : 2018」の認証取得を完了しました。

マネジメントシステムを通じて、重篤災害を未然に防止するとともに、お客様の期待と信頼にお応えできるよう安全衛生活動に取り組んでいます。

2023年度は海外グループ会社での認証取得を計画しています。

◆環境方針

1. 法令・協定・顧客との取り決めおよび自主基準を順守する。
2. 環境目標を設定し、組織的・継続的な環境負荷低減活動を地域社会とともに推進する。
3. 環境に配慮した製品の開発・設計・製造販売を行う。
4. 環境汚染の予防処置と監視を行う。
5. 教育・啓発活動を進め、従業員および事業に関わる人々すべての役割・責任についての自覚高揚を図る。

◆環境保全活動の推進体制

環境保全に関する双信電機グループの方針・施策は、環境管理担当役員を委員長とする「環境委員会」で決定します。ここで決定した方針・施策は、各サイトの拠点長、環境管理責任者を通じて全社に展開します。

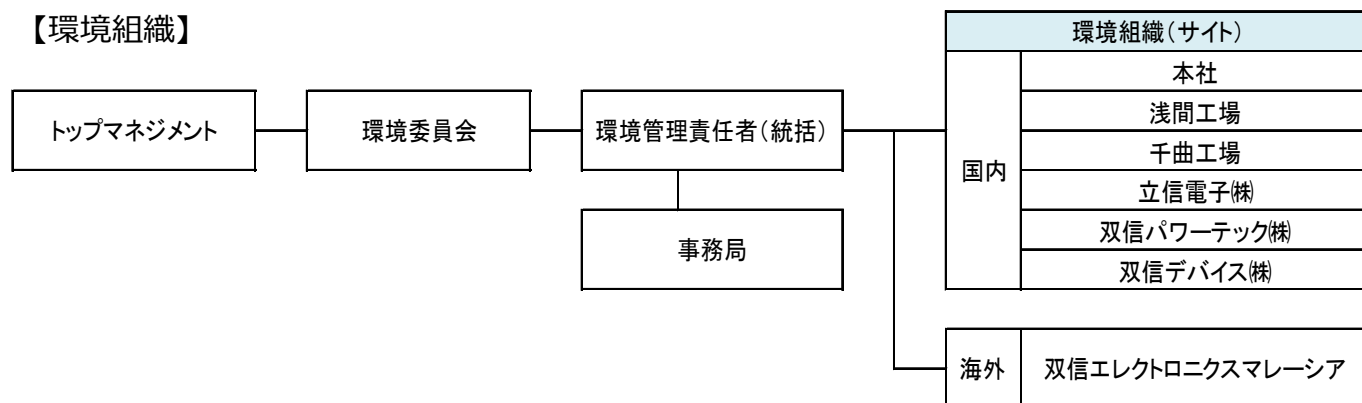
環境組織の活動として、半期ごとに開催される環境委員会の他、環境会議を毎月開催し、CO₂排出量や産業廃棄物排出量などの目標に対する実績管理のほか環境に関する情報交換などを行い、環境保全活動を継続的に推進しています。

◆ISO14001認証・環境監査

双信電機グループは、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001：2015年版の認証を取得しています。

マネジメントシステムの有効性や適合性の確認は、認証機関による外部審査、環境管理部門による環境査察、実行部門が行う内部環境監査（内部環境監査員**262**名）を実施しています。

ISO14001：2015年度認証の適用範囲



※各サイト内の組織図は省略

◆2022年度環境目標活動状況

	計画	実績	コメント
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]	6,365	5,877	生産数量減により減少
廃棄物排出量 [t]	210	262	工場設備の廃棄により増加
苦情	0	0	近隣からの苦情なし



13 気候変動に
具体的な対策を



◆再生エネルギー導入の取り組み

浅間工場では太陽光発電システムを導入しており、今後は他拠点への導入も検討していきます。



13 気候変動に
具体的な対策を



◆高効率空調機の導入

2022年度までに国内製造4拠点の高効率空調機の導入が完了しました。



13 気候変動に
具体的な対策を



◆国内製造拠点の照明を全てLEDへ交換

2022年度までに国内製造4拠点の照明をLEDに交換しました。

データ集

環境データ

国内・海外グループ合計

(t-CO₂)

	カテゴリ	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
温室効果ガス (GHG)	GHG排出量 (Scope1,2合計)	7,325	7,343	7,689	8,236	6,681
	Scope1	383	447	482	631	547
	Scope2	6,942	6,896	7,207	7,605	6,134

2022年度は会計年度の変更により2022年4月～12月の集計となっています。

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス、当社ではA重油、灯油、ガス、ガソリン、CO₂以外の温室効果ガス)

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出(当社では購入した電気)

Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

※Scope3は算定準備を進めており来年度開示の予定です

国内グループ合計

カテゴリ		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
消費エネルギー	購入電力	Kwh	15,557,971	15,047,367	15,627,893	16,675,699	12,998,468	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	Kwh	155,800	150,209	149,865	145,323	113,608
		グリーン電力	Kwh	-	-	-	-	942,125
	A重油	L	47,200	49,650	53,950	48,900	12,200	
	灯油	L	23,843	22,467	24,216	23,655	8,323	
	ガス (LPG)	kg	36,937	43,384	53,992	74,545	77,737	
	ガソリン	L	18,409	12,474	10,722	9,515	8,961	
水資源	水使用量	m ³	17,517	13,529	19,463	19,833	18,623	
廃棄物	総排出量	t	258	268	221	256	262	
	売上高原単位	t/億円	3	4	3	3	3	
PRTR法対象物質の取扱量		t	10	8	11	13	11	
CO ₂ 以外の温室効果ガス排出量 (CO ₂ 換算) PFC		t-CO ₂	150	75	75	184	259	

海外グループ合計

カテゴリ		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
消費エネルギー	購入電力	Kwh	970,364	1,041,701	1,164,300	1,088,110	988,960	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	Kwh	-	-	-	-	-
		グリーン電力	Kwh	-	-	-	-	-
	A重油	L	-	-	-	-	-	
	灯油	L	-	-	-	-	-	
	ガス (LPG)	kg	294	896	980	868	714	
	ガソリン	L	8,423	8,965	5,100	3,552	4,139	
水資源	水使用量	m ³	5,047	4,964	6,109	5,298	5,262	
廃棄物	総排出量	t	69	59	67	83	80	
	売上高原単位	t/億円	6	7	6	7	5	

社会データ

注記があるものを除き、すべてのデータは 3月31日時点です。

※1 4月1日時点のデータ

※2 正社員を対象に算出

※3 契約社員、継続雇用、パート

対象範囲：国内グループ

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
従業員数	人	670	657	630	626	640
男性		481	470	452	450	466
女性		189	187	178	176	174
全従業員に占める女性比率	%	28.2	28.5	28.3	28.1	27.2
管理職人数	人	113	111	108	110	111
男性		110	108	106	107	108
女性		3	3	2	3	3
管理職に占める女性比率	%	2.7	2.7	1.9	2.7	2.7
女性従業員に占める女性管理職比率		1.6	1.6	1.1	1.7	1.7
外国人従業員	人	3	3	2	3	3
直接雇用非正規従業員数※3	人	15	16	17	21	20
派遣社員数	人	80	92	113	150	107
平均年齢	歳	41.9	42.6	42.5	43.5	43.8
男性		39.5	40.2	39.6	41.2	41.4
女性		44.4	45	45.4	45.7	46.2
勤続年数	年	15.7	16.6	16.9	17.3	17.2
男性		15	15.8	15.9	16.1	15.7
女性		16.4	17.4	17.9	18.4	18.6

注記があるものを除き、すべてのデータは 3月31日時点です。

※1 4月1日時点のデータ

※2 正社員を対象に算出

※3 契約社員、継続雇用、パート

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
新規採用人数	人	15	13	11	19	13	
男性		13	10	8	14	9	
女性		2	3	3	5	4	
女性比率	%	13.3	23.1	27.3	26.3	30.8	
中途採用人数	人	4	7	5	38	27	
男性		3	6	4	33	19	
女性		1	1	1	5	8	
採用人数全体に占める中途採用人数の比率	%	21.1	35	31.3	66.7	67.5	
離職率※2 (定年退職、死亡は除外)		3.4	3.3	3.7	3.7	4.1	
育児休業・特別有給休暇 (配偶者出産) 取得率	男性	%	-	71.4	75	77	50
	女性		100	100	100	100	100
育児休業復帰率(女性)	%	100	100	100	100	100	
傷病率	-	0.8	0.3	1.9	1.8	1.3	
労働災害度数率	-	0.53	1.14	0	0	0.68	
死亡災害発生件数	件	0	0	0	0	0	
ストレスチェック受検率	%	100	100	100	100	100	
障がい者雇用率	%	2.92	2.97	3.03	3.14	3.13	



双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.
URL : <http://www.soshin.co.jp>

お問い合わせ先
ESG推進室
〒385-0011
長野県佐久市猿久保664-1
代表連絡先 TEL : 0267-67-4511

本レポートに対するご意見・ご感想をお寄せください。
Email : environment@soshin.co.jp